

～精神疾患は三大疾患の一つ～
こころの健康推進をわが国の基本政策に



こころの健康政策構想実現会議

2010年12月13日 号外 第1号



100万人署名推進ニュース

- 発行人：こころの健康政策構想実現会議
- 連絡先：〒337-0026 埼玉県さいたま市見沼区染谷 1177-4 やどかり情報館
100万人署名推進委員会
TEL. 048-680-1891 FAX. 048-680-1894
E-mail cocoro-syomei@mbf.nifty.com
URL <http://www.cocoroseisaku.org/>

こころの健康政策構想実現会議主催の署名活動を東京新宿で実施 「号外」

◆100万人署名推進委員会からの報告とお礼



12月11日(土) 新宿駅東口アルタ前、その後西口前に移動して、全国各地から約170名の方々が大集合し、街頭署名活動が盛大に行われました。「精神疾患基本法制定の署名にご協力を」など書かれた黄緑色ののぼり旗が立ち並ぶ中、黄色いたすきを身につけ、道行く人にチラシを渡し、署名を呼び掛け、カンパのお願いをしました。また車上からのリレートークでそれぞれの思いを訴えました。当事者も家族も精神科医師も支援者も、みな臆することなく、自分たちの体験から日本の精神保健医療体制の貧しさを語りました。「50年間精神科医師として診療をしてきたが、当事者や家族が堂々と自分たちの実情を訴える日が来ることなど想像もできなかった。今日は記念すべき日である。」というスピーチが、今も耳に残ります。自ら署名をしてくださる方もいれば、知らん顔で通り過ぎる人もいました。その様子を見て、当事者も家族も精神疾患を体験する前は「通り過ぎる人の1人だった」ことを思い出し、だからこそ、こころの健康の問題は他人事ではないと訴え続けねばとの思いを新たにす体験でした。



東口から急ぎ西口へ移動するといったアクシデントもありましたが、大成功だったと思います。車上からのアピールに次々マイクを握っていただき、実感もったお話をそれぞれの立場からアピールしていただき、そのことにもとても大きな意義があったと思います。当事者・家族のみなさんの体験に基づくお話に聞き入ってくださっている人たちもいたように思います。参加者は約170人、署名ですが、922筆でした。募金は105,529円でした。この募金の中には関係者の方の大口の寄付も含まれています。関係者にご購入いただいた缶バッジ135個、23,602円の売り上げとなります。署名のお願いやチラシの受け取りは結構大変だったと聞きました。ご家族の方からは、署名のお願いをしながらか話したこともメールで報告してくださっています。署名数や募金の額というよりも、今回の行動そのものに大きな意味があったと思っています。数では推し量れないものがありました。最初の一步、素人集団の街頭署名活動を多くの人たちのご協力で成功できたこと、感謝します。

◆参加者の声(多くの方々からお声をいただきましたが、今号ではその一部を紹介させていただきます。)



参加して下さった方から「結構いっぱい集まったので、直接やどかりに送るね。当日はアスペの子供が頑張ったご褒美に旅行に連れて行くのでいられないけど、まだ頑張ってるよ」とってくれた方が1000人委員会の方でいました。50万くらい集まっているといいですね。さて、当日は埼玉のかたがたがいっぱい支度をしてくださって、壮観でした。のぼり旗は効果抜群でした。いろいろな場所で使ってやれるといいですね。実際に話しかけてくださり、署名して下さった方たちは、「僕も鬱で薬飲んでます」と話しかけてくれた方が何人かいたことです。中には家族に統合失調症の方がいるのだが、なかなか思うように快方に向かわず、家族も孤独にすごしているという話をしてくださった方もいました。この方とは街頭討論会をして、仲間になってもらったという印象です。何しろ、仕度をして下さった方々へ感謝です。後片付けも大変だったと思っています。そして、身体の骨がばきばきするほど、お願いしますと叫んだ参加者の皆さんと共に一緒に取組んだという良い思い出がまた一つ増えました。ありがとう御座います。



左の写真は、車上でのスピーチの順番を待つ参加者の方々です。この活動は日本テレビによって取材され、11日の夕方ホームページに掲載されました。その記事のご紹介です。

「精神疾患は身近な病気」理解求める署名活動

鬱病や統合失調症への理解と支援を求めて、患者と家族らの団体「こころの健康政策構想

実現会議」が11日、東京・新宿駅前で行った。この団体は「鬱病や認知症などを含む精神疾患は身近な病気」として、政府に、治療や支援の充実を掲げた基本法を作るよう求めている。患者らは早い段階で適切な治療を受ければ、病状は安定する」として、早い段階で適切な治療を受ければ、病状は安定する」として、長期の入院でなく、家庭で暮らせるように、訪問型のカウンセラーなど新たな支援の実現を訴えた。団体は、来年3月までに100万人の署名を集めて、国会に提出することを目指している。(日本テレビ掲載サイト: <http://www.news24.jp/articles/2010/12/11/07172240.html>)

